

●刈払作業では体の保護もしっかりと

なぜ？

刈払作業では、切断した草、小石等が飛んできます。また、草むらの中には、異物が隠れていることがあります。

ヒヤリ、事故

1. 畦畔の草刈中、木片が飛んで来て足にあたり、数日痛かった。
2. ぶどう園の下草刈作業中に棚の針金が飛んで長靴を通し左足に刺さり負傷した。
3. 草むらの中に大きな石があり、刃が欠けて目に飛び込んできた。直前に雨が降ってきたので、保護メガネが水滴で見えにくくなり外していた。

そこで…

対策ポイント

万が一のために、自身も保護具で守りましょう。

1. 手袋、安全靴、保護メガネまたはフェイスシールド、イヤーマフ、すね当て、その他保護具を装着します。
2. 保護メガネには曇り止めを塗ります。
3. エンジンに触れた時の火傷、刈刃の交換時の切り傷を防ぐためにも、必ず手袋を着用します。



保護メガネ



さらに！

追加のヒント

1. 刈刃を膝より高く持ち上げると、顔面に飛散物が衝突する可能性が高くなるため、刈刃は膝よりも低い位置で作業します。
2. 刈刃への巻き付き、詰まりは、必ずエンジンを停止させ、刈刃が止まったのを確認してから取り除きます。